

# 3年道徳通信 第21号

## 第21回『聖地甲子園の土守』

「土は生きものや。」が口癖だった藤本さんは、季節に合わせて土の配合を変え、白球が映えるグラウンドを造り、ブルペンの5mm程度のゆがみなら一目でわかりました。

辻さんは、藤本さんを目標にして、芝生に情熱を注ぎ、5年以上の月日をかけて完成させます。

金沢さんは「甲子園のグラウンドがいいのは藤本さんと辻さんの貯金があるから。将来、貯金をふやして次の代に渡したい」と言いました。

高校野球の聖地「甲子園球場」の三代の土守から仕事への情熱と妥協を許さない姿勢を学びました。



### みんなの意見

将来自分が働こうと、どんな考え方を大切にしたいですか？

- お金も大事だけど、人間関係も大事だと改めて深く思った。
- 自分のことだけを考えて仕事をするのではなく、誰かをおもって仕事をしたい。
- 相手の立場になったうえで自分の考えも取り入れて、物事を判断するようにしたい。
- 自分が満足するだけでなく、他の人も満足するような仕事をしたい。
- 働くときは効率だけじゃなく、その職場の伝統も考えて働こうと思った。
- 自分の仕事に誇りを持って仕事をしたい。
- 始めたときの気持ちを忘れず、いつまでも謙虚でいること。先輩になっていくにつれ、いばるということを覚えない。
- 何のために何をするのかを追求して、尽くす心を大切にしたい。
- できることはすべてするという気持ちを大切にする。自分の仕事に自信を持てるのはカッコいいと思いました。
- 親には生きていく上で大切なことをしてもらってきたから、その恩は必ず返す！
- 人に応援され、尊敬される人になる。
- 人間関係を大切にしたい。それができなかつたらストレスになり、いい仕事ができないから。



人は何のために働くのだろう。

